

財団法人
ヤマハ発動機スポーツ振興財団
設立について

2006年(平成18年)12月7日

財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団

ご 挨拶

わが国のスポーツ界は、国民のスポーツ愛好精神を基盤として、選手はもちろん、関係機関や各種団体の皆様のたゆまぬ努力に支えられ、戦後、着実に発展してまいりました。その結果、現在では日本の多くの競技が世界のトップレベルに達するとともに、国内外で活躍する選手やチームは夢や憧れの対象として、国民の、とりわけ青少年の心身の成長に大きな影響を与えています。いまやスポーツは「参加する」、「観戦する」、「支援する」といった様ざまなかたちで世代を超えた文化を形成し、国民生活の中に広く、深く、溶け込んでいます。

しかしながら一方では近年の社会生活の変化に起因して、青少年の心身の育成に関わる多くの課題が浮かび上がっているのも事実です。国が行う体力・運動能力の調査では、1980年代半ばをピークに基礎的な体力が全世代において低下の一途を辿っており、また、心の教育においても社会全体で取り組まなければならない重要な問題として、あらためてクローズアップされています。

財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団は、欧米で生まれたモータースポーツやマリンスポーツ文化の普及と安全教育に注力し、加えて、世界的なスポーツであるサッカーやラグビーの裾野拡大と競技レベルの向上のために豊富な普及・振興活動の実績を持つヤマハ発動機株式会社の創立50周年記念事業の一つとして設立しました。当財団は、ヤマハ発動機株式会社のスポーツ活動で培った有形・無形の資産を有機的に活用しながら、「青少年のスポーツチャレンジ支援」、「地域スポーツの振興および支援」、「スポーツ文化の発展」に取り組み、スポーツにかかわる教育／研究活動、そして実践／体験促進活動を推進してまいります。

私たちは様ざまな事業活動を通じて、「挑戦することの尊さ」をあらためて社会にメッセージしたいと考えています。夢を持ち、目標を立て、知恵と努力によって困難に挑む心、すなわちチャレンジスピリットは、誰もが心の中に抱いている精神です。スポーツの振興を通じ、将来を担う若い世代が夢を持てる社会を目指すとともに、青少年の心に秘められたチャレンジスピリットを喚起して、逞しい精神と肉体を持つ社会にとって有用な人材の育成に努めてまいります。

当財団の活動にご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2006年(平成18年)12月7日

ヤマハ発動機スポーツ振興財団理事長
長谷川 至

1. 財団の概要について

- 名称 : 財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団
英語名称=Yamaha Motor Foundation for Sports (略称=YMFS)
- 所在地 : 〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地
電話:0538-32-9827/ファックス:0538-32-1112
- 設立年月日 : 2006年(平成18年)11月20日
- 設立趣旨 : 近年における青少年の長期的な体力低下、スポーツに対する興味の減少など憂慮すべき状況にある中で、幼少時代から家族はもとより、学校教育、あるいは地域のスポーツ活動を通じて、スポーツの楽しさを十分体験させ、継続参加させていくと共に、社会人になってからもスポーツが楽しめる環境を整え、生涯スポーツとして定着させていくことによって、我が国におけるスポーツ振興とスポーツ文化の向上を図り、国際社会及び地域社会の繁栄に貢献する。
- 設立目的 : 幼児、児童生徒、学生、青年ならびに一般社会人など広く国民に豊かな人間性涵養に効果をもたらすスポーツに関する教育活動をはじめ、スポーツと深い関わりを持つ人間科学、スポーツ医学、予防医学等の基礎的諸問題を探求し、また、その普及を推進して広く社会教育の振興に資するとともに、併せて我が国におけるスポーツ振興とスポーツ文化の向上を図ることを目的とする。
- 事業概要 : 1. スポーツによる青少年の健全育成事業の普及および振興
2. スポーツの普及推進のための指導者への教育指導活動・指導者の派遣および教育機器等の提供
3. スポーツの普及・振興に関する調査研究、スポーツの普及・振興のための講習会・フォーラムの開催および競技会等の開催支援
4. スポーツ文化発展のための人間科学・スポーツ医学・予防医学等の研究に対する支援・助成
5. スポーツの普及・振興に功績のあった個人・団体に対する表彰およびスポーツの普及・振興のための書籍・視聴覚教材の制作・出版
6. スポーツに関する安全啓発およびスポーツ振興のための国際交流
7. スポーツ文化の普及・発展のための研究等活動を行う学生に対する奨学金給与
8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 役員構成 : 理事長 長谷川 至 ヤマハ発動機株式会社 取締役会長
常務理事 岸川 善次郎 (当財団 事務局長 兼務)
理事 柳澤 伯夫 衆議院議員
塩谷 立 衆議院議員
晝馬 輝夫 浜松ホトニクス株式会社 代表取締役会長兼社長
古橋 廣之進 財団法人日本水泳連盟 名誉会長
関根 謙一 警察大学校 名誉教授
清水 紀彦 一橋大学大学院 客員教授
山村 正一 株式会社電通 顧問
岡崎 助一 財団法人 日本体育協会専務理事
梶川 隆 ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長
監事 田宮 紳司 新日本監査法人 代表社員
小西 由人 ヤマハ発動機株式会社 (順不同)
- 基本財産(基金) : 1億円(初年度:出捐者 ヤマハ発動機株式会社)
- 事業予算 : 1億3千万円(初年度:出捐者 ヤマハ発動機株式会社)

2. 主な活動について

財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団は、ヤマハ発動機株式会社のスポーツ活動で培った有形無形の資産を有機的に活用しながら、スポーツ振興を軸とした以下の3分野での事業活動を通じて「挑戦することの尊さ」をあらためて社会にメッセージすると同時に、「夢を持ち、目標を立て、知恵と努力によって困難に挑む心・チャレンジスピリット」の醸成を図り、将来を担う若い世代が夢を持てる社会の実現に向けて、青少年の心に秘められたチャレンジスピリットを喚起し、逞しい精神と肉体を持つ社会に有用な人材の育成に努めます。

■初年度(2007年・平成19年)の主な事業展開について

1. スポーツチャレンジ助成事業

スポーツを通じて世界に羽ばたく逞しい人材を育成するために、自己の夢の実現にチャレンジする個人やグループを応援する『YMFSスポーツチャレンジ助成』を実施します。内容は、スポーツに関わる技能・体力の向上や体験を目的とした取り組みに対して助成金を支給する「チャレンジ体験助成」と、スポーツに関わる学問研究に対して助成金を支給する「チャレンジ研究助成」の2部門です。

2. スポーツ振興支援事業

スポーツに励む子供たちや指導者の個人能力向上を目的とした各種プログラムを実施します。小中学校やジュニアクラブを対象とした個人能力向上の取り組みとしては、小学校4年生以上を対象とした「体力測定」(任意)を年2回実施し、測定結果に基づいた能力向上のアドバイスを行います。また、指導者に対しては、各競技におけるジュニア年代の指導カリキュラムの整備と充実による指導レベルの向上をサポートします。その他、地域スポーツの振興を目的とした「地域指導者登録派遣システム」の構築や、指導者のレベルアップを図る「YMFS地域指導者講習会」を開催、スポーツに取り組む子供たちの保護者を対象とした「YMFS保護者向け講習会」(年2回)、小中学校やジュニアクラブに対するスポーツ機器の配備を推進します。

3. スポーツ文化事業

スポーツ文化の醸成を目的とした「YMFSスポーツ文化フォーラム」を年3回程度、主要都市にて開催します。スポーツ振興に関わるさまざまなテーマで議論を行うとともに、各種の研究発表や多彩なゲストによるトークショー等を実施します。加えて、スポーツ振興やスポーツ文化の発展に寄与した功労者(個人・団体)を、当財団が独自の視点で表彰する「YMFSスポーツ振興功労者表彰」を制定し、2008年度(平成20年度)より「YMFSスポーツ文化フォーラム」(2008年3月開催予定)の会場で表彰式を行います。さらに、スポーツの普及・振興に関わる各種の調査活動を実施し、発行書籍やウェブサイト、フォーラムの会場等で発表するほか、スポーツに関わる学問研究を行う留学生に対して奨学金を給付する、国際友好スポーツ奨学金制度としての「YMFS海外留学生奨学金」や「YMFS外国人留学生奨学金」の公募も実施します。

※この件についてのお問合せは、下記までご連絡ください。

財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Y M F S) : 事務局 (担当:河邊)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地

■Tel:0538-32-9827／■Fax:0538-32-1112／■Home page address:<http://www.ymfs.jp>